

# 対話型ディスカッション 「アブストラクトで表現する！」

ソフトウェア品質シンポジウム  
投稿応援フォーラム in 東京  
SQiP2015委員会委員 河野哲也

# はじめに

- 自己紹介
  - 日立製作所 ITプラットフォーム事業本部  
プラットフォームQA本部
    - たまに、論文を書いたり、レビューしたりする
- 本セッションの立ち位置
  - 公開されている知見に基づいて突込みを入れていく
  - 突っ込みのポイントでは、河野個人の見解はなるべく減らす
    - 今回掘り所にする知見
      - [1]昨年投稿応援フォーラム「アブストラクト作成のポイント」大杉さん  
[http://www.juse.jp/sqip/symposium/2014/toukououen\\_forum/](http://www.juse.jp/sqip/symposium/2014/toukououen_forum/)
      - [2]SQiP研究会 ミニ講座「論文の書き方 入門」 鷺崎先生  
<http://www.washi.cs.waseda.ac.jp/?p=1490>
      - [3]論文必勝法 ～基礎から一流誌・会議採録まで～ 講演スライド  
<http://www.ipsj.or.jp/journal/info/75NC.html>  
講演-2 論文のイロハ 垂水浩幸(香川大学 工学部 教授)  
<http://stwww.eng.kagawa-u.ac.jp/~tarumi/sotsuron/Ronbun-Iroha.pdf>
  - 以降、上記番号を利用していく、「⇒」で改善ポイントを示す
  - 上記文献は本対象のアブストラクトからするとハードルが高い

# タイトル、キーワードがいまいち

- タイトル・キーワードの決め方は  
[1][2]でアドバイス有
  - とはいえ、現状のアブストラクトでは、  
このタイトルは適切である、キーワードも同様  
– つまり切り口が定まっていない、、、
- ⇒タイトルは後回しにする  
とりあえず、内容を詰める  
もちろんキーワードも後回し  
内容が概ね詰まったら、  
[1][2]を参考に検討を進める

# 「ねらい」で著者の立場やスコープを示してほしい

- [3]レポート式の書き方から脱却できない例で指摘有

- 前提がうまく整理されていない

⇒このポイントは非常に重要(査読者は無知)

最低でもSEPGという立場であること

プロセス改善を推進しているけど

上手くいっていないことを書く

ただし、これをツラツラと書くと冗長になるので

ポイントを絞る必要がある

また、提案に関係のある前提のみを示す

# 「ねらい」の各文章のつながりが悪い

- 分かり易く言うと読みにくい
  - [2]の「記述が論理的で納得できる」に反している
  - [3]が指摘している主語の抜けにも該当している
    - 例えば、モチベーションが上がらないのは誰なのか？
    - 必要な評価の対象は？

⇒現状は、たたき台の第一弾としては(全体的に)悪くない  
(指導者はこれを批判してしまうと、筆者は困る)  
ただし、現状の資料に修正を加えていくことはお勧めしない  
うまく書けていない真の原因はこのアブストラクトで  
主張したいことが不明確になっていること  
まずは、主張をはっきりさせるために、  
全体の設計をすることをお勧めする  
恐らく「実施概要」の途中までは「ねらい」に  
持ってきたほうが良い？  
あとは、文章的な問題、これは慣れが大きい

# 報告の切り口が惜しい

- 提案やアピールポイントが最も重要
  - [3]では「成果ではなく努力のアピール」になっていることがあると述べている
  - [2]では、「早い段階でアイデアや計画を論文形式で書いておく」と述べている
    - 切り口を常に気にすることになる
- ⇒ここでアピールしたいことは「標準プロセスに積極的に準拠して取り組んだプロジェクトの方が手戻りやテスト工程での問題の発見、納品後のクレームの3項目が少ないことがわかった」である
- この切り口をうまく見せるように進める

# 「実施結果」が書けていない

- 実施結果  
2の実施によって得られた効果について  
(できるかぎり具体的に)概説してください。
  - [3]が論文ストーリーについての注意で  
「論文の最初に述べた目的と評価が一致しないものはだめ」と指摘
    - つまり、「狙い」「実施結果」が一致していないといけない
    - 現状の実施結果であれば、問題は組織的な部分に焦点が当たっているはず
- ⇒まずは問題点・原因をシンプルに定義する  
もしくは実施結果が示せるような問題点・原因に再定義する

# 具体例がない

- このアブストラクトの読みにくさの一番の原因は具体例がないこと
    - 「例えば」という言葉が一回も出てこない
  - 査読するアブストラクトでもこの傾向有
  - [2]では、提案では「例中心」と述べている
  - ただし、紙面の都合ですべてに対して具体例で説明できない
    - 一つの方法は実施概要で述べた問題点・原因のうち、今回焦点を当てるものだけ絞って議論する
- ⇒ 誰でもわかる具体例を取り上げて、その具体例に沿って、論述を進める

ご清聴ありがとうございました

対話型ディスカッション  
「アブストラクトで表現する！」  
SQiP2015委員会委員 河野哲也